

東京2020オリンピックのマラソン・競歩を応援しよう

お預かりした桜枝のできるだけ多くが、8月の舞台できれいに咲くことができるようにマニュアルを作成しています。

このマニュアルの内容から大きく逸脱するものは使用に適さないためやむを得ず処分をさせていただくことがございます。

皆様のご厚意を無駄にいたくありませんので、大変お手数をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

北海道雪氷桜プロジェクト 桜剪定マニュアル2021

ヤエザクラ



一昨年の銀座での実験で特に強さを発揮しました。開花から散り始めまでの期間が比較的長い品種です。

ソメイヨシノ



一昨年の銀座での実験で強さを発揮しました。日本では他のサクラを圧倒する人気種です。

エゾヤマザクラ



本州の桜を見慣れている人は驚くという濃いピンク色の花が楽しめます。4月下旬から5月上旬にかけて開花。

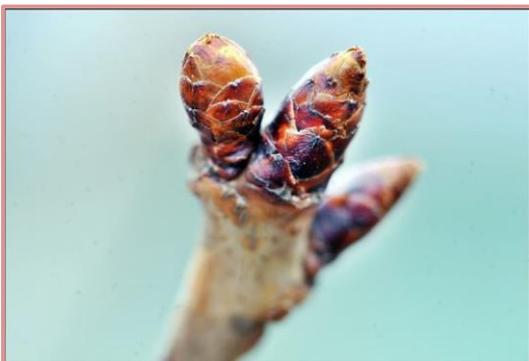
千島桜



毎春、桜前線の最後に咲く桜。根室市の清隆寺にある千島桜は、国後島から持ち帰られたそうです。

2 剪定の時期について

実行委員会参画自治体の剪定は桜の芽が色づく前に行われることが理想です。



ヤエザクラの花芽



ソメイヨシノの花芽



エゾヤマザクラの花芽（左）と葉芽（右）



※ご注意※



ここまで色づいてしまうと、この後に雪氷庫に入れると枯れてしまう可能性が高くなります。

なお剪定した桜を沼田町では、3月下旬に受け入れ期間を設ける予定です。

剪定後から受け入れまでの期間は、ブルーシートをかぶせた上をさらに雪で覆った雪山の中や冷暗所等に保管しておいてください（一時保管の間はできましたら雪に浸けてください。）。

3月下旬の沼田町の受入れの日程は決まり次第ご連絡いたします。

3 剪定枝の選別・調材方法について

本来は不要な枝として発生する剪定枝ですが、8月に「希望の桜」として再生するために大変お手数をおかけしますが、以下の選別・調材をお願いします。

- ① 剪定で出る切枝は、いろいろな大きさがあります。まずその中の長い枝を花芽が多くついている部分を残し、なおかつ長さが100~110cmになるように先端部分又は下部を切り詰めます。また病気のある枝は、あらかじめ除去してください。



剪定切枝の長さは100~110cmになるように切ります。

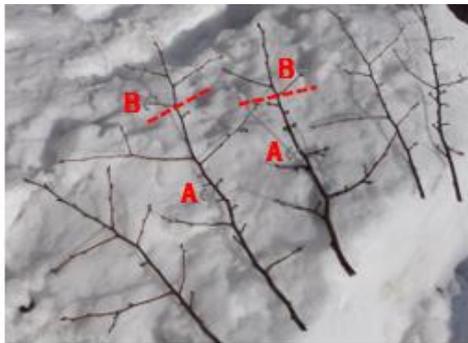
- ② 次に枯れ枝や花芽のない枝、下から15cm間（開花作業時に水に浸かる部分になります。）の短い枝や芽を除去してください。



わき芽の切除

※注 図※

※ 花芽と葉芽について 【花芽の数が開花率にも影響します※】



①桜の花芽と葉芽



②芽の拡大

※桜の芽には花が咲く「花芽」と葉のみがつく「葉芽」とがあります。
（上図のAが花芽、Bが葉芽）

枝先は花芽が少ないので、樹冠内部寄りの枝を抜き切ると良いでしょう。
花芽は10芽以上ついていることが望ましい状態です。

4 結束について

- ① 剪定切枝の全てを長さ100～110cmに切りそろえます。10本束ねて（1本の枝の切口はΦ1～2cm程度）結束し、束を作成します。その際、上部の枝が他の枝と絡まらないようにできるだけ小さくまとめてください。
サイズを超えてしまったものや枝が外に飛び出しているものはカットして、花芽のない枝は避けていただきますようお願いいたします。
- ② 結束は、最初に基部をそろえてしばり、枝を上にもとめながら束の緩みや膨らみ、枝の飛び出しがないようにひもでしっかり結びます。
結びひもはPPひも（ポリプロピレン製のひも）にさせていただくと助かります。
なお、「すずらんテープ」は枝先でさけてからまることもあるため、使用しないでください。

※最後のページに結束図を載せています。ご参照ください。

5 発送について

桜枝をご提供いただける市町村様は、同封のチラシの裏面に所定の項目を記入し、「桜のプロジェクトとして協力（桜の枝の提供・配布など）」にチェック・記入をして3月14日（日）までに事務局へFAXしてください（FAX:011-876-0826）。

【沼田町への発送時】ビニール袋に梱包していただいたものを、3月下旬に受付予定。

（バケツに入れる必要はありません。）受付日は決まり次第ご連絡いたします。

お送りいただく際はビニールテープを結束の基部付近に1周させて、油性マジックで市町村名と品種をご記入ください。なおビニールテープは品種ごとに色分けをお願い申し上げます。

*** 黄色：エゾヤマザクラ 緑色：ソメイヨシノ 赤：ヤエザクラ 白：チシマザクラ ***

剪定から発送まで期間がある場合は、その期間、各地で雪中（水管理）・冷暗所等に貯蔵してください。

剪定について

「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」と言われていますが、「剪定」とは暴れ枝を切ったり、形を整えたりすることをさします。

古い枝を切って新しい枝に養分を回すことで良い花を咲かせたり、病害虫を予防したり強風による枝折れを防ぐことができます。

本実行委員会では、剪定し捨てられる枝を有効に活用してオリンピックのおもてなしをしようと企画されたものです。